

『間質性肺炎外来』変更のお知らせ

間質性肺炎の症状は乾いた咳・労作時の息切れですが、そのように非特異的な症状から見過ごされることもある疾患です。

間質性肺炎の中でも最も頻度の高い**特発性肺線維症**の5年生存率は20～40%とされており、様々ながんと比べても予後不良です。

特発性肺線維症には**抗線維化薬**（ニンテダニブやピルフェニドン）が有効とされておりますが、最近では、膠原病肺や過敏性肺炎などの一部である**進行性線維化性間質性肺炎**に対しても適応が拡大されました。

抗線維化薬は**早期の治療介入**が大切です。

そのためには、**早期発見**が重要です。

当院では、間質性肺炎の患者さんに、正しい診断・最適な治療をすこしでも早くから届けるために、『間質性肺炎外来』を開設いたしました。

◇無症状でも構いません
「捻髪音やレントゲンが気になる」と
感じましたら、是非ご紹介ください。

『間質性肺炎外来』は水・金曜13:00～15:00に行っております。
予約は不要です。

仙台厚生病院 呼吸器内科

間質性肺炎外来リーダー 木村雄一郎、戸井 之裕